

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ケアセンターれもん		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日	～	令和7年 2月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)
			1
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日	～	令和7年 2月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)
			7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一日あたりの利用人数が1～2名と少なく、マンツーマンでの支援がおこなえる。	そのときの利用児の状態によって臨機応変に支援プログラムを変更している。	ケアセンターれもんならではの特色ある支援プログラムを提供できるよう検討していきたい。
2	日頃から利用児の状況を保護者等と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っている。	お迎えに来てくださったときにその日の状況をお伝えするだけでなく、普段の過ごし方などを保護者からお聞きすることで、背後にあるニーズを汲み取ろうと努めている。	今後もお迎えに来てくださったときには綿密なコミュニケーションを図っていきたい。
3	リスクマネジメントに関する職員の意識が高い。	ヒヤリハット報告書を作成・提出することに職員が慣れている。 定期的なリスクマネジメント会議をおこなっている。	KYT(危険予知トレーニング)の実施など、リスクマネジメントに関する研修を定期的におこなってきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一日あたりの利用人数が1～2名と少なく、集団活動が難しい。	サービス提供時間が15時～17時(長期休み中も)と短く、利用の選択肢に上がりにくい。	ケアセンターれもんならではの特色あるプログラムを提供し、利用の決め手となるようにしたい。
2	児童クラブや児童館など、地域と交流する機会がない。	近隣にそのような施設がない。	夏期交流行事などで地域の団体をイベントのゲストとして招き、地域との交流をおこなうようにしていきたい。
3	保護者同士で交流する機会が提供できていない。	働かれている保護者もあり、行事を企画しても参加しづらい。	ケアセンターれもん内部の行事だけでなく、外部のイベントや研修の案内を積極的におこない、ケアセンターれもん以外でも保護者と交流できる機会を提案していきたい。